



田瀬湖湖水まつり 水・空中花火大会

【日時】7月21日㊥、午後7時～8時30分
 ※雨天時は22日㊦に延期
 【内容】3,500発の水・空中花火が水面を彩る
 【会場】田瀬湖花火大会特設会場
 【問い合わせ】田瀬湖湖水まつり実行委員会(東和総合支所産業係 内☎42-2111内線323)



▲10人乗り手こぎボートで約200mを競う「Eボートレース」

田瀬湖湖水まつり ウォータースポーツフェスティバル

【日時】7月21日㊥・22日㊦、午前9時～午後4時
 【内容】21日…ヨットやバナナボートなどの無料体験、22日…Eボートレース(1チーム1万円)など
 ※Eボートレースは7月9日㊤までに下記へ申し込みが必要
 【会場】東和B & G海洋センター
 【問い合わせ・Eボートレースの申し込み】本館スポーツ振興課(☎24-2111内線293)

夏休みイベントカレンダー

待ちに待った夏休み。市内で開催される展示会や体験イベント、花火大会などを紹介します。
 花巻で夏の思い出つくりませんか。

7月

☎:対象 ㊥:時間 ㊦:内容 ㊧:集合場所 ㊨:定員 ㊩:料金 ㊪:会場 ㊫:問い合わせ ㊬:申し込み

開催中 (8月31日 金ま で)	7日 土 ～ 8月 26日 日	7日 土 ～ 10月 7日 日	14日 土 ～ 9月 17日 月・祝	14日 土 ～ 9月 30日 日	14日 土 ～ 11月 19日 月
特別展「新渡戸稲造名著シリーズ『帰雁の蘆(あし)』」留学時代の「みやげ話」 稲造の洋行・留学時代の話が収められた『帰雁の蘆』から10話を紹介(入館料が必要です) 国図花巻新渡戸記念館 ☎31・2120	特別展「写真家が捉えた昭和のこども」 日本を代表する写真家が捉えた昭和の子どもの姿を展示(入館料が必要です) 国図花巻市博物館 ☎32・1030	企画展「ひのきとひなげし」中野真紀子作陶展 賢治をテーマに制作した陶芸家・中野真紀子さんの作品などを展示 国図宮沢賢治イハートフ館 ☎31・2116 関連イベント「ワークショップ&コンサート・トークショー」…▼期日:8月19日 国図①ワークショップ(午前10時～正午)、ワイヤーと液体合成樹脂を使ってヒナゲシの造花を制作②コンサート・トークショー(午後1時～2時)、2人組ユニットKatoShoiiによるコンサートと朗読および、同ユニットと中野さんのトークショー▼国200人(先着順。申し込みは不要)▼国500円(材料代)	企画展「写真展 岩合光昭の世界ネコ歩き」 NHK BS「岩合光昭の世界ネコ歩き」の写真展(入館料が必要です) 国図萬鉄五郎記念美術館 ☎42・4402	企画展「花巻の城館探訪・縄張図で見る中世城館」 国130以上あったとされる市内の城館。その中から数カ所を、縄張図や写真で紹介(入館料が必要です) 国図花巻市総合文化財センター ☎29・4567	企画展「光太郎と花巻電鉄」 国光太郎が市街や温泉に出掛ける際に使った「花巻電鉄」の資料や記録映画、ミニチュアを展示(入館料が必要です) 国図高村光太郎記念館 ☎28・3012

*マークが付いている施設はまなびキャンパスカードが使えます。詳しくは9ページへ

任期を終える 3人の地域おこし協力隊

平成27年から開始した花巻市地域おこし協力隊。7月31日をもって、第1期の隊員3人が、3年間の任期を終え「卒業」します。
 卒業を迎えた隊員に活動の総括とこれからを聞きました。

【問い合わせ】本館定住推進課(☎24-2111内線213)



3人の着任を紹介した広報はなまき「平成27年8月15日号」

新しい「ぶどう」と
 出会う。
 鈴木寛太

この3年間、たくさんの人に支えられ、7月末で花巻市地域おこし協力隊を卒業します。

協力隊として私は、大迫地域のブドウ産業の活性化に力を注いできました。▶ブドウ農家さんの労働力支援ボランティア「ぶどうつくり隊」の運営▶岩手大学学生と連携し「岩手大学ぶどう部」を設立▶はなまきグリーン・ツーリズム協議会を通じて首都圏の学生を招き農業体験を実施—など私自身も楽しみながら、ブドウ産業の活性化に取り組むことができました。

今年5月に、大迫町でブドウ農家になりました。今後は生産者の立場から花巻市大迫町を全国にPRしていきます。



新しい「レトロ」と
 出会う。
 神谷瑞樹

私は東和町で土澤商店街を中心にイベント支援や空き家調査などを実施しました。

東和町ではみこしを担いたり、みそを作ったり、牛を引いたり、初めての体験でいっぱいでした。地元の人から「何もないところによく来たねえ」と言われることもありましたが、自然や食べ物、歴史など、知らないことばかりでワクワクしていました。

地域おこし協力隊の活動を終えた後は、市内で保育関係の仕事に就く予定です。地域おこしとは少し離れてしまっていますが、私が3年間で感じた花巻の魅力を、次の世代に伝えていけたらと思っています。



新しい「農業」と出会う。
 松阪廣剛

早いもので地域おこし協力隊に着任して3年がとうとしています。

地域の農業を知ることから始め、新規就農者の支援、途中からは自分自身の就農を目的に活動してきました。

ゼロからの出発でしたが、地元の皆さんから温かい支援をいただき、東和町で就農することが決まりました。

今後は営農しながら、地域のイベントや農泊を通じて東和町に人を呼び込む活動を続けていきたいと考えています。

